

台風第19号関連 関東4水系緊急治水対策プロジェクト

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した関東4水系において、国、都県、市区町村が連携し、概ね7～8年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」を進めていきます。
- 令和5年度より、引き続き河道掘削等の改良復旧を進めるとともに、事業着手後に発生した課題に対応するため、事業期間を延長し必要な予算を確保しながら取り組んでいきます。

全体：4水系

■河道・流域における対策 約2,054億円

改良復旧 約1,668億円(河川大規模災害関連事業)(474億増)
 災害復旧 約 385億円(河川等災害復旧事業)(34億増)

■対策内容

堤防整備 約41km、河道掘削・樹木伐採 約798万m³
 霞堤・遊水地 7箇所、堰改築 1箇所

①入間川流域緊急治水対策プロジェクト 約338億円 事業期間 令和7年度まで (1年延長)



越辺川右岸0k付近

- 河道・流域における対策
 - ・河道掘削、遊水地、堤防整備 等
- 河道・流域における対策 [土地利用・住まい方の工夫]
 - ・土地利用制限、高台整備 等
- ソフト対策
 - ・広域避難計画の策定 等

④多摩川緊急治水対策プロジェクト 約255億円(64億増) 事業期間 令和7年度まで (1年延長)



多摩川溢水状況

- 河川における対策
 - ・河道掘削、堰改築、堤防整備 等
- 流域における対策
 - ・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔化 等
- ソフト対策
 - ・講習会等によるマイタイムラインの普及促進 等



③久慈川緊急治水対策プロジェクト 約647億円(297億増) 事業期間 令和8年度まで (2年延長)



久慈川左岸27k6付近

- 河道・流域における対策
 - ・河道掘削、堤防整備、霞堤整備 等
- 河道・流域における対策 [土地利用・住まい方の工夫]
 - ・土地利用制限、家屋移転 等
- ソフト対策
 - ・越水・決壊を検知する機器の開発・整備 等

久慈川

那珂川

②那珂川緊急治水対策プロジェクト 約813億円(147億増) 事業期間 令和8年度まで (2年延長)



那珂川右岸28k6付近

- 河道・流域における対策
 - ・河道掘削、遊水地、堤防整備 等
- 河道・流域における対策 [土地利用・住まい方の工夫]
 - ・土地利用制限、防災集団移転促進事業 等
- ソフト対策
 - ・越水・決壊を検知する機器の開発・整備 等

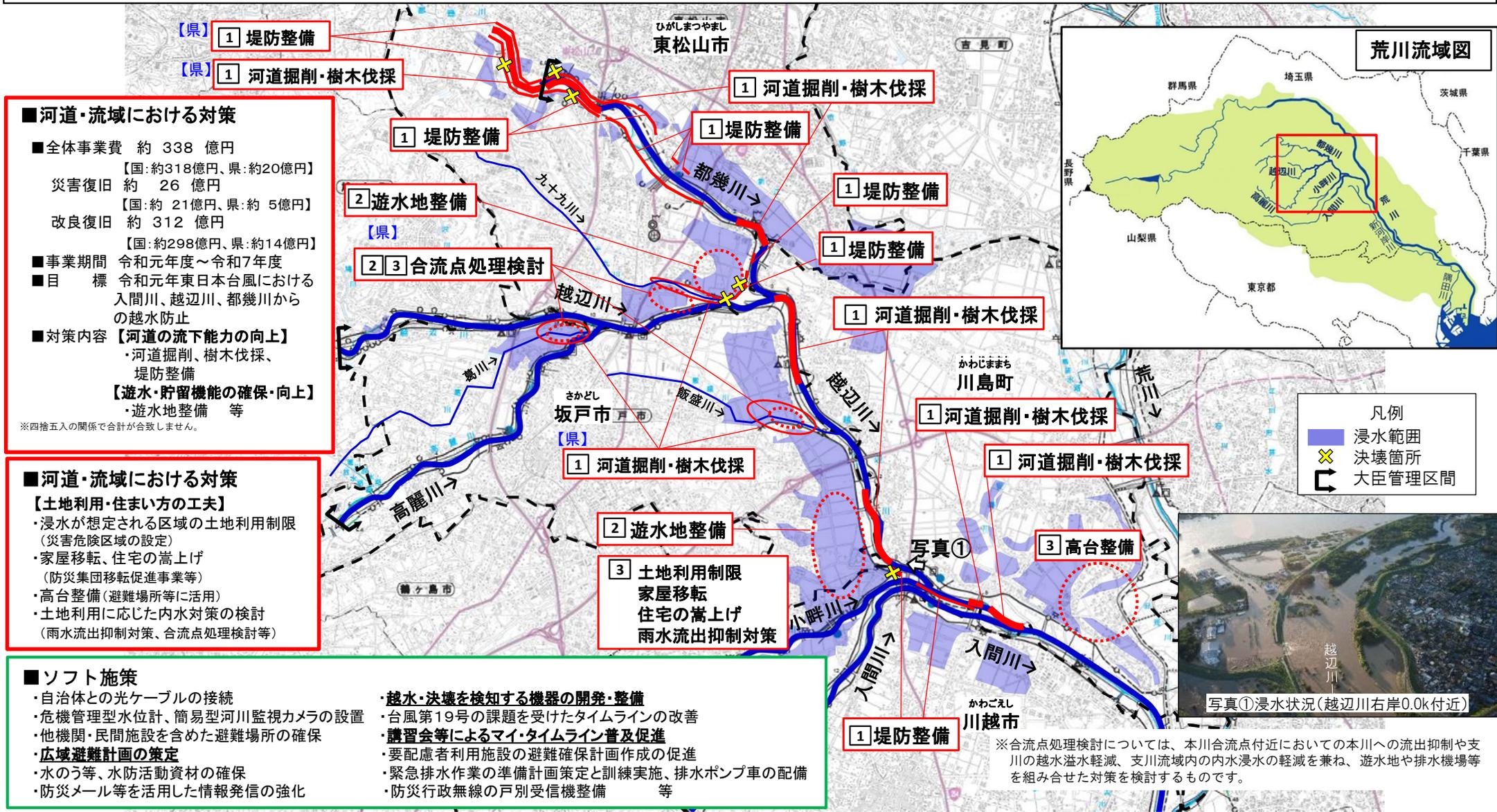
※事業費は、緊急治水対策プロジェクトのうち、河川大規模災害関連事業、河川等災害復旧事業により、国で実施する河道・流域における対策について記載しています。
 ※四捨五入により合計値が合わない箇所があります。

入間川流域緊急治水対策プロジェクト

～多重防御治水の推進～

【令和5年度版】

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した、入間川流域において、国、県、市町が連携し、「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」を進めています。
- 国、県、市町が連携し、以下の取組を実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。
 - ①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】
 - ②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】
- 令和5年度は、河道掘削等の改良復旧などを進めていきます。



■河道・流域における対策

- 全体事業費 約 338 億円
 - 【国:約318億円、県:約20億円】
- 災害復旧 約 26 億円
 - 【国:約 21億円、県:約 5億円】
- 改良復旧 約 312 億円
 - 【国:約298億円、県:約14億円】
- 事業期間 令和元年度～令和7年度
- 目標 令和元年東日本台風における入間川、越辺川、都幾川からの越水防止
- 対策内容
 - 【河道の流下能力の向上】
 - ・河道掘削、樹木伐採、堤防整備
 - 【遊水・貯留機能の確保・向上】
 - ・遊水地整備 等

※四捨五入の関係で合計が合致しません。

■河道・流域における対策

【土地利用・住まい方の工夫】

- ・浸水が想定される区域の土地利用制限（災害危険区域の設定）
- ・家屋移転、住宅の高上げ（防災集団移転促進事業等）
- ・高台整備（避難場所等に活用）
- ・土地利用に応じた内水対策の検討（雨水流出抑制対策、合流点処理検討等）

■ソフト施策

- ・自治体との光ケーブルの接続
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ・他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
- ・**広域避難計画の策定**
- ・水のう等、水防活動資材の確保
- ・防災メール等を活用した情報発信の強化

- ・越水・決壊を検知する機器の開発・整備
- ・台風第19号の課題を受けたタイムラインの改善
- ・講習会等によるマイタイムライン普及促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施、排水ポンプ車の配備
- ・防災行政無線の戸別受信機整備 等

凡例

- 浸水範囲
- ✕ 決壊箇所
- 大臣管理区間



※合流点処理検討については、本川合流点付近においての本川への流出抑制や支川の越水溢水軽減、支川流域内の内水浸水の軽減を兼ね、遊水地や排水機場等を組み合わせた対策を検討するものです。

久慈川緊急治水対策プロジェクト

【令和5年度版】

～多重防御治水の推進～

○令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した久慈川水系において、国、県、市町村が連携し、「久慈川緊急治水対策プロジェクト」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。

①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】

②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和5年度は、堤防整備や河道掘削等の改良復旧、霞堤の保全と整備、越水・決壊検知機器の活用による情報提供の迅速化、講習会等によるマイ・タイムライン普及促進などを進めていきます



